

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第17号
令和3年9月6日発行
黒沢尻工業高等学校

○ “ダブルスタンダード”

正体を明らかにせず活動している芸術家のバンクシーは、公共物や民家の壁などの私有物に社会性のあるテーマに関連した絵を無許可で描いています。しかし、我々がバンクシーと同じことを行えば、違法で罪に問われてしまいます。

建造物に落書きをすると建造物等損壊罪（刑法 260 条、5 年以下の懲役）が成立する可能性があります。外国では、日本よりも重い刑を科せられる国もあるそうです。

しかし、バンクシーは芸術家として認知され、単なる落書きではなく、高い価値のあるアートとなるため、落書きされた物が本来持っている価値を低下させるどころか、むしろ、高めることとなります。そのため、バンクシーは建造物等損壊罪に問われませんと言います。

ここには、“ダブルスタンダード”が生じています。ダブルスタンダード(二重基準)とは、「同じことをしても評価の基準が異なり、不公平になること」を意味しています。

分かりやすい例として、全く同じことをしたのに、真面目に授業を受けているAさんは褒められて、授業に寝てばかりいるBさんは^{けな}貶される、といったことがダブルスタンダードです。



肝心なのは、“人が人を評価する”ということです。人の評価は、接する相手に与える印象によるところが大きいです。“課題を提出すればいい”と、ただ写して出す人と、きちんと取り組んで提出している人では、評価の基準が変わるのは当然かも知れません。それなのに、「せっかくやることをやったのに、何で点数が低いんだ!?’と、訴えるのは^{おかど}御門違いです。

バンクシーのように、信念を持って突き抜けてしまえば、人の評価を覆すことはできるでしょう。皆さんの場合は、物事の善し悪しをしっかりと判断して、取り組むべきことに真摯な態度を見せることを心掛けましょう。ちゃんとやっていたら、今後の評価は上がるはずですよ。頑張りましょう！

○ 「いのちの尊さ、大切さ教室」

前期末考査後の9月8日（水）に、「いのちの尊さ、大切さ教室」を実施します。これは、犯罪被害者やそのご家族から自身の体験を講演していただくことにより、犯罪被害の理不尽さ、犯罪被害者等が直面する困難や悲しみを知り、置かれている状況を理解することで、周囲の人々の支えや協力の必要性について学ぶプログラムです。講師は、県内にお住まいの被害者のご遺族にお願いしています。

コロナ禍ではありますが、この講演を通して、皆さんには犯罪被害の実態や生命の大切さについての理解を深め、犯罪を犯してはならないという規範意識を持ってもらいたいと考えています。

○ 今月の主な予定

9月10日（金）	基礎製図検定	9月20日（月）	敬老の日
9月12日（日）	測量士・測量士補国家試験	9月23日（木）	秋分の日
9月16日（木）	就職試験統一選考日	9月24日（金）	厚生福利事業（生徒休日）

9月18日（土）～20日（月）、23日（木）～26日（日）と連休になります。9月は登校日数が少ないですが、体調管理に努めていきましょう！